彩遊祭楽

三谷市民文化振興財団ニュース

イベント情報

木村多江一人芝居「エンドロール」

6月22日（月）開演 19：00
越前市いまだて芸術館（越前市粟田部町）
入場料：3,500円（当日4,000円）

映画を愛するアラフォー女の、笑って泣ける物語。映画・TV・舞台で活躍し、多くの映画賞を受賞している実力派女優、木村多江のひとり芝居。

問 越前市いまだて芸術館　☎0778-42-2700

越前夏まつり 2015 衝激!! ～越前×海夏人（みなと）～

7月18日（土）開場 13：00
オープニングセレモニー 18：30　花火 20：30
越前漁港広場（丹生郡越前町道口）

●イベント内容
・よさこい　・盆踊り大会　・花火大会
・サブイベント（予定）
縁日…ボールすくい等
お遊び広場…ビニールプール等

問 越前コミュニティセンター　☎0778-37-1501

清川あさみ －美採集－

7月18日（土）～ 9月27日（日）
※月曜休館、祝日の場合開館、翌平日休館
開館時間 10：00 ～ 17：00（最終入場 16：30）
※会期中の土曜日は 18:00 まで開館延長
（最終入場 17:30）
金津創作の森（あわら市）
アートコア ミュージアム－1、ギャラリー
観覧料：一　般 800円（600円）
大学生 500円（400円）
高校生以下無料
※ 65歳以上の高齢者および障害者 400円、（　）内は 20名以上の団体料金

「蝶類」（『もうひとつの場所』リトルモア刊）©Asami Kiyokawa

布や糸で写真に刺繍を施すなど、独特の表現で注目を集めるアーティスト・清川あさみ氏の展覧会を開催します。本展では、清川作品の代名詞でもある、旬な女優やアーティストを動植物に変身させる「美女採集」シリーズ、90年代のファッションカルチャーに注目した「TOKYO モンスター」シリーズ、絵本原画などを展示。刺繍という繊細な手法から創り出される色彩豊かで独創性あふれる美の世界をご紹介します。

問 公益財団法人 金津創作の森財団　☎0776-73-7800

若狭瓜割名水まつり

8月8日（土）
若狭瓜割名水公園（三方上中郡若狭町天徳寺）

名水流しソーメンや名水野点茶屋、各種屋台など、名水を楽しむ様々なイベントの他、ステージショーや花火などの催しも実施。暑い夏を涼やかに楽しめるイベントです。

問 若狭瓜割名水まつり実行委員会（三宅公民館内）
☎0770-62-0140

一般財団法人　三谷市民文化振興財団
〒910-8571 福井県福井市豊島1-3-1　三谷ビル
TEL：0776-20-3188　FAX：0776-20-3306

2015年5月発行　・このニュースに関するお問い合わせは、☎0776-33-7571（株）コミネットまで

YURAKU SAISAI

ふくいの無形文化財

妙泰寺 七福神祭　9月第3月曜日（敬老の日）

日蓮宗として越前最古の寺・妙泰寺にて約230年続いているこの祭りは、元々は大飢饉に見舞われた村人たちを救おうとしたことが始まり。七福神が地区内を巡行する「招福訪問」が行われるほか、境内での祭礼では、猿田彦大神・やっこ・おふく・獅子も登場。奉納踊りなどが盛大に行われる。祭りの最後には、神輿や稚児などの行列が成される。

（南越前町）

ふるさとめぐり

第七回　南越前町

伝説

…言奈（いうな）地蔵（旧今庄町）…

※馬子…荷物や人を乗せた馬を引く職業

昔、金持ちの旅人が木の芽峠を越える道中、その大金に目がくらんだ馬子に殺され、所持金を奪われてしまった。その始終を見ていた地蔵に気が付いた馬子は、「この事は誰にも言うな」と地蔵に向かって言うと、「わしは言わぬがお前が言うなよ」と口止めされた。

それから10年後、若い旅人にうっかりその出来事を話してしまった馬子は、その若者によって殺されてしまう。実はその若者こそ、10年前に馬子によって殺された旅人の息子だった。

言奈地蔵に会いに行く

言奈地蔵
■住所：福井県南条郡南越前町板取 北陸自動車道今庄ICから車で30分

句碑

月に名を
包みかねてや
疱瘡（いも）の神　松尾芭蕉

湯尾峠にいる「疱瘡の神」。普段はひっそりとその姿を隠しているが、今宵は別名「芋の月」と呼ばれている、八月十五夜の月。その月の光が、疱瘡の神の正体を照らしてしまったようだ。

句碑に会いに行く

孫嫡子（まごしゃくし）神社　■住所：福井県南条郡南越前町湯尾峠

伝統的工芸品「めがね」
全国1位のめがね産地である鯖江は、眼鏡枠では全国のシェア90%を占めている。

三好輝明

実力と運が行き交う競技かるた 強者がひしめく福井で勝負する

競技かるたの世界で、常勝する男性がいる。優勝回数は数知れず、ただひたすらに強い。三好輝明八段は全国でも一目置かれる存在だ。昨年の全国選抜大会で四度目の優勝を果たし、さらなるタイトルを狙っている。

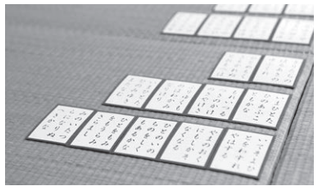
三好さんが競技かるたに出会ったのは小学四年生のとき。百人一首を覚え大会に出場する町内子ども会の活動がきっかけだった。「やってみて面白かったので続けよう、と。福井渚会を教えてもらい入会しました」。さらりと話す三好さんだが、聞けば小学校から現在まで練習を欠かしたことがないという。中学、高校では勉強と部活とかるたの3両立。進学した東京でも練習できる会を見つけて週3回通った。社会人になった今も通いつめ、朝から晩まで実践形式で練習を重ねている。一試合に一時間以上、一日に連続七試合という大会もあるため、それに持ちこたえられる集中力と体力が必要なのだ。圧倒的な強さは鍛錬にある。

現在32歳の三好さん。かるた以外に興味を持つことなく、一筋に続ける魅力はどこにあるのだろうか。「勝負ごとだからかな。はっきりとした勝ち負けとスピードの世界。最初に札を並べて見せ合うということは、お互いの手の内を見せるということ。そこから勝ち抜く作戦を考えます」。しかし実力だけではないのが勝負の世界。読手（どくしゅ）の読み方が自分の耳の感覚と合わなかったり、苦手な札ばかり読まれたり。試合では運も左右し、会場の環境も影響を与える。それが勝負だと三好さんは考えている。

競技かるたを題材にした漫画『ちはやふる』の影響でかるた人口が倍増。福井でも親しみを持つ人が増えた。第一線で戦い、優勝を繰り返す三好さんは後輩にとっても憧れの的だ。「自分が強くなれたのは、昔から熱心に指導してくれた師匠・栗原績（いさお）前会長のおかげ。小学校で学ぶ土壌もあるからでしょう。僕はまだ文化を伝えるまではいきませんが、強い人を育てたい想いはあります。強者と戦うのは楽しいし、自分のためにもなりますから」。

負ける悔しさも知っているから、勝ち続けたい。そのために練習は人一倍以上こなす。地道な積み上げがあってこその常勝なのだ。

読手がこの箱から読み札をランダムに取り出して読む。福井渚会の選手なら必ず取りたい札は、会の由来になっている札だそう（写真中央）。



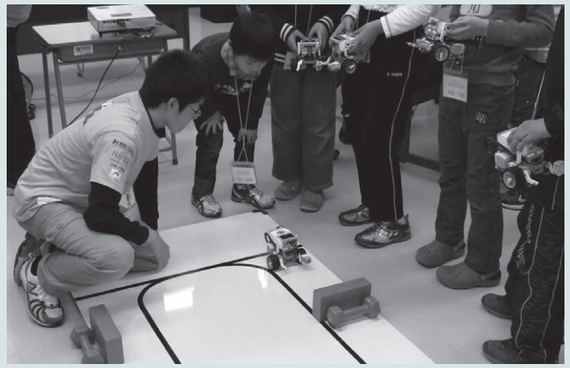
札には地域によって並べ方や覚え方があり、初心者はそこからスタート。試合経験を積み、自分の並べ方を会得していく。

●みよし・てるあき／1983年越前市生まれ。中学、高校ですでに全国優勝を果たし、全国選抜大会優勝4回。全国大会では通算40回以上優勝しており、入賞回数は数知れず。福井渚会所属。

鯖江市

ロボット作りの楽しさを地域活性に繋げる

「さばえ・ロボット・クラブ Roboject」



■連絡先　さばえ・ロボット・クラブ Roboject　塚崎　☎090-1632-6889

ロボット作りを通して子どもたちの理科離れを解消しようと立ち上げられたのが当クラブの始まり。基本的に走行型のロボットキットを使用し、自分で組み立て、自在にプログラミングする。

個人でのロボット作りはステップアップがなかなか難しい上、キットも高額。一方、当クラブでは格安で参加できる上、スタッフをはじめ、中高生のボランティアが手厚く指導してくれるため、初心者でも安心して楽しめる。

当クラブの「親子参加」という条件が、近年乏しくなっている親子の会話の潤滑油となり、ボランティアの学生にも社会貢献の機会を提供している。ロボット作りの場が参加者全員に様々な利益を生み出し、地域に根ざした活動に繋がっている。

三谷市民文化振興財団の助成団体

福井市

様々な活動を通して「まちづくり」をサポートする

「(一社)あすの福井県を創る協会」

■連絡先　(一社)あすの福井県を創る協会　☎0776-41-4220

若狭自動車道や北陸新幹線開通など他県からのアクセスが便利になったこともあり、福井の「おもてなし」の心をさらに大切にしたいと考えている当協会。

まちづくり優良実践者・団体への表彰やラジオ体操推進などを行う中、活動の一環に「ふるさと料理を楽しむ会」があり、福井の郷土料理の技術や知恵を後世に残そうと、毎年2月7日「ふるさとの日」に合わせて開催されている。料理や地酒が一堂に集まり、「越前焼」や「若狭塗箸」を使って一般の人にもビュッフェスタイルでもてなされ、来場者は目でも舌でも楽しむことができる。

本県は平成30年に「福井国体」を控えており、当協会は引き続き「まちづくり」貢献のため、福井県民の意識啓発を支援してゆく。

※「ふるさと料理を楽しむ会」は予約制。毎年12月末頃に、新聞にて参加者を募集する。

一般財団法人 三谷市民文化振興財団

助成団体募集!!

募集期間：2015年10月1日～11月20日

※応募状況により延長する場合がございます。

一般財団法人 三谷市民文化振興財団は、福井県内におけるボランティア活動、スポーツ活動、市民文化活動の振興を通じて「こころ豊かな地域づくり、社会づくり」に貢献することを目的として、2015年度の助成団体の募集を行います。

▶募集の要領

●助成の対象分野
- ボランティア活動
- スポーツ活動
- 市民文化活動

●助成の対象となる団体

■営利を目的としない次の条件を満たす団体
1．福井県内で活動している団体
2．会員が5名以上の団体
3．設立1年を経過している団体
（2014年10月以前に設立したもの）
4．特定の資格・経歴等の条件を必要としない、個人で加入できる民間の団体

●助成金額　1件あたり約20～50万円

●応募締切日　2015年11月20日
（当日消印有効ですが、なるべく早めに提出ください。）

●結果連絡　選考員会による審査で決定し、2015年12月末までに団体代表宛に連絡いたします。
（採否の理由に関するお問い合わせには応じ兼ねます。）

●助成金贈呈時期　2016年1月上旬

上記より詳しい募集要領がございます。
以下にお問い合わせをしてから、ご応募ください。

まずはお問い合わせを！

★ホームページから募集要領を読む
三谷市民文化振興財団のホームページへアクセス
http://www.mitene.or.jp/m-zaidan/promo.html
または検索エンジンで↓

三谷市民文化振興財団　検索　←クリック

★お電話で募集要領を取り寄せる
☎0776-20-3188　(一財) 三谷市民文化振興財団